

NPO法人日本農学図書館協議会
平成27年度第3回理事会議事録

日 時：平成27年11月21日（土） 10時30分から12時00分

場 所：明治大学図書館資料室

出席者：長塚（会長）、惟村（副会長）、田沼（事務局長）、木村理事、尾崎理事、合田理事、高橋理事、上田（事務局）

議事録署名人に木村理事及び合田理事を指名し、了承された。

（議 事）

1. 1. 活動の中間総括

事務局より、中間総括の報告があり、意見交換を行った。主な意見は以下の通り。

【会誌刊行関係】

- ・今年、投稿要領及び原稿執筆要領が制定され、原稿依頼がし易くなった。
- ・会誌180号では、「会員図書館紹介」の執筆依頼を行ったが複数館で依頼を断われた。原稿をお願いする際、依頼館に対し「アピール・宣伝」の場として活用してほしいとお願いするのも一方法ではないか。
- ・最近、海外の諸会議に若い図書館員が参加しており、これらの人に原稿を書いてもらえば若い人にも手に取ってもらいやすくなり、会誌の内容の充実と普及につながっていくのではないか。
- ・9月発行の会誌は、著者校正の戻り時期と大学の夏休みとが重なり、校正時期を調整する必要があるのではないか。
- ・図書館の新技术、新動向などをトピック的に取り上げることも良いのではないか（例：サンメディアの「Summon システムと機能」など）。

【会員関係】

高橋理事より、「全国農学系大学ならびに大学図書館リスト」等の情報提供があった。

- ・農図協の現会員とリストの全国農学系大学図書館とを突合し整理して、加入を呼びかける必要があるのではないか。
- ・毎年学部長会議が開かれており、当法人会長が農図協をアピールできるような機会を確保してはどうか。
- ・農図協の機関会員「A会員」は、多くの機関が「会誌購読会員」となっており、本来の「加盟館会費」の会員とすべきではないか。現実的には、会員館の事情もあり、費目変更をしてもえるところからしてもらってはどうか。

【委託・セミナー事業関係】

- ・尾崎理事より、麻布大学「いのちの博物館データベース構築事業」の進捗状況の説明があり、事業の予算査定は12月上・中旬になるとの見通しとのことであった。
- ・また、麻布大学の委託職員研修については、TRCとの定例会に話題として提起したい。
- ・次回セミナー開催は、実施するとすれば2月下旬を考えたい。候補としては、玉川大学農学部、明治大学農学部黒川農場を検討したい。

2. 当面の取り組み

特になし

3. その他

事務局より、農函協が1966年に創設されたことを踏まえ「創設50周年記念行事の開催について」の課題提起があった。審議した結果、50周年は2017年であること、行事取り組み方法には年間を通じて既存の事業に50周年の「冠」を付した仕方等もあり、次回以降の理事会で検討することとした。

議長・会長 長塚 隆 印

議事録署名人

木村 博 印

合田豊二 印